

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、発生の確認と防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容 サトイモ疫病の早期発見と防除の徹底について

2 発生経過

令和 6 年 6 月 12 日に四国中央市において、サトイモ疫病の初発生が確認された。これは過去に最も早い初発となった昨年（6 月 26 日）より 14 日早く、これまでで最も早い発生確認となった。

3 当面の防除対策

- 圃場内での発生は周辺箇所から始まるが多いため、こまめに観察し、さといもの中位葉から下位葉の発病有無を確認する。
- 圃場観察を行い、発病茎葉は早急に除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- 梅雨期にあたるため、ランマンフロアブル、ジーファイン水和剤、ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤による定期的な予防散布を行い、発病が認められた圃場では、直ちにダイナモ顆粒水和剤を散布し、その後、ピシロックフロアブル、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤、アミスター20フロアブルを散布する（表、図 1）。なお、さといもの茎葉は水をはじきやすく薬剤が付着しにくいので、展着剤を必ず加用する。
- 治療効果のある薬剤を散布した後は、病斑の変化をよく観察する（図 2）。

表 サトイモ疫病に対して使用できる殺菌剤

農薬名	FRAC コード	希釈倍数 (倍)	使用時期	本剤の 使用回数	期待できる 防除効果
ジーファイン水和剤	NC+M1	1,000	収穫前日まで	-	予防効果
ペンコゼブ水和剤	M3	500	収穫7日前まで	2回以内	予防効果
ジマンダイセン水和剤					
ランマンフロアブル	21	2,000	収穫前日まで	2回以内	予防効果
アミスター20フロアブル	11	2,000	収穫14日前まで	3回以内	予防とある程度 の治療効果
ダイナモ顆粒水和剤	21+27	2,000	収穫21日前まで	3回以内	予防と治療効果
ピシロックフロアブル	U17	1,000	収穫前日まで	3回以内	予防と治療効果
カンパネラ水和剤	40+M3	1,000	収穫7日前まで	2回以内	予防と治療効果
ベネセット水和剤					

※ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ）を含み、また、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ+ベンチアバリカルブイソプロピル）であるため総使用回数に注意する

※令和6年度愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋

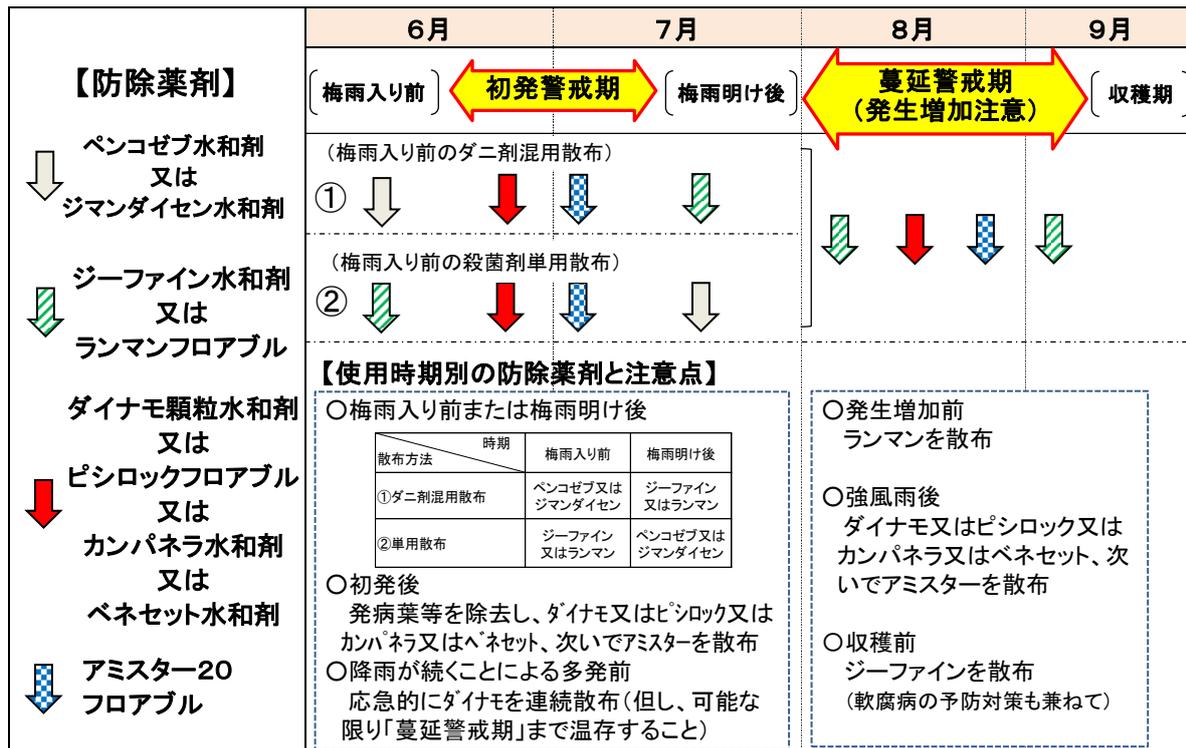


図1 サトイモ疫病の防除体系モデル



＜薬剤散布前の病斑＞  
病斑の輪郭がぼやけている  
白色部分は遊走子の塊

＜治癒した病斑＞  
病斑の輪郭が明確に見える  
遊走子のうが消えている

＜治癒していない病斑＞  
病斑の一部がぼやけている  
(○部分)

図2 治療効果のある薬剤散布後の病斑治癒